

天龍峡・太古の湖から 峡谷が出現



▲下瀬から見た天龍峡

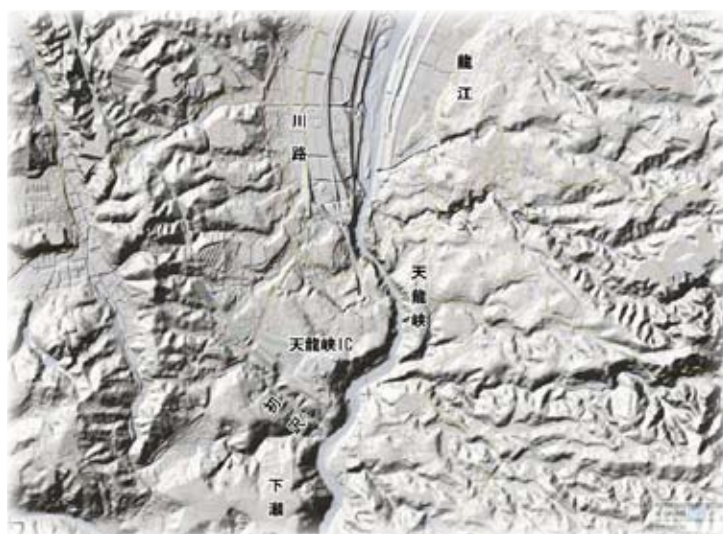
むかしむかし、天龍川は平原を流れ下っていました。峡谷へと変貌したのは大地の隆起によります。隆起には地震と共に発生する活断層が関わっています。

10万年ほど前、天龍川を横切る初沢断層が出現し、下流部が隆起しはじめました。そのため天龍川は塞ぎ止められて、上流の竜丘・松尾地区が湖となりました。天龍川はその後、隆起した大地を掘り込み、現在の天龍峡ができました。

これらの大地の変遷を現場写真をもとにお話します。



松島信幸さん



講師：松島信幸さん

(飯田市美術博物館顧問)

日時：4月22日(日)

午後1時30分～3時

場所：飯田市美術博物館講堂

※聴講無料、申込不要



飯田市美術博物館

〒395-0034 長野県飯田市追手町 2-655-7

TEL 0265-22-8118 FAX 0265-22-5252 <http://www.iida-museum.org/>